

展覧会情報

Future Beauty 日本ファッション：不連続の連続

Future Beauty: The Tradition of Reinvention in Japanese Fashion

2014年3月21日（金・祝）～5月11日（日）

日本のファッションが持つ創造性とは何か？そこに潜む文化的背景とは何か？本展は現代ファッションを先導した三宅一生、山本耀司、川久保玲から服と人との新たな関係性の構築を目指すゼロ年代のデザイナーまで、世界に評価される日本のファッションの独自性を、服や写真、映像などさまざまな表現形式で通観します。時代の先端を歩むデザイナーの才能を最大限に引き出し、その思想の具現化を支えたのは、日本の〈着る〉文化の伝統でした。京都服飾文化研究財団（KCI）の收藏品を中心に構成しながら、京都から発信され続ける工房や職人の技術がもつ新たなポテンシャルを、改めて問い直します。



左：アシードンクラウド／玉井健太郎 2012年春夏 KCI 所蔵・林雅之撮影
右：コム デギャルソン／川久保玲 2012年秋冬 KCI 所蔵・林雅之撮影

連続レクチャー

全て要申込

第一回

「京都の伝統、現在から未来へ—革新と挑戦」

串野真也氏（MASAYA KUSHINO デザイナー）

×細尾真孝氏（株式会社細尾 取締役）

日時：2014年3月22日（土）午後2時～3時30分

※2月24日（日）より受付開始

第二回

「色を着る、色を脱ぐ—アンリアルレイジと京都の技術」

森永邦彦氏（ANREALAGE デザイナー）

日時：2014年4月19日（土）午後5時～6時30分

※3月17日（月）より受付開始

第三回

「いま、輝く燈火を—伝統とモードをつなぐ」

堀畑裕之氏+関口真希子氏（matohu デザイナー）

日時：2014年5月3日（土）午後2時～3時30分

※4月7日（月）より受付開始

会場：京都国立近代美術館 1階講堂

定員：100名（要申込）

※聴講無料、未就学児の入場はご遠慮ください。

申し込み先・お問い合わせ

京都服飾文化研究財団（KCI）

電話：075-321-9221

（月曜から金曜まで午前9時30分～午後5時）

※定員に達し次第締切とさせていただきます。

友の会特別解説会

「Future Beauty 日本ファッション：不連続の連続」展

日時：2014年4月5日（土）

午前11時～11時45分

集合場所：当館1階ロビー

集合時間：午前10時55分

募集人数：先着15名

解説者：周防珠実（京都服飾文化研究財団・キュレーター）

申し込み先：京都国立近代美術館 事業係

電話：075-761-4115

（月曜から金曜まで午前10時～午後5時）

※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。

ワークショップ

会期中、Future Beauty 展をよりたくさんの方々楽しんでいただくために、ワークショップを企画しております。下記の日程で開催が決まっておりますが、詳細は決まり次第、当館HPや公式サイトで公開いたします。

※内容はそれぞれ異なります。

① 2014年3月30日（日）

② 2014年4月20日（日）午後

Future Beauty 展 公式サイト

<http://www.kci.or.jp/exhibitions/fb/index.html>

最新のイベント情報等は公式サイトでご確認ください。

展覧会情報

チェコの映画ポスター テリー・ポスター・コレクションより

Czech Posters for Films From the Collection of Terry Posters

2014年3月21日(金・祝) - 5月11日(日)

絵本、人形劇、アニメーションなどの分野でよく知られるチェコは、映画ポスターのデザインでも数々の名作を生んできました。それまでの社会主義リアリズムから脱却した1960年代には、カレル・タイスィク、ミラン・グリガル、ズデニェク・ツィーグレルに代表される新世代のグラフィック・アーティストが台頭し、映画作品のエッセンスを巧みに引き出しながら、時に映画を大胆に異化するその創意によって、映画ポスターというジャンルに独自の表現を打ち立てました。

この展覧会では、東京国立近代美術館フィルムセンターと京都国立近代美術館の共催により、プラハの映画ポスター専門ギャラリー〈テリー・ポスター〉が所蔵する、チェコスロヴァキア時代の1950年代後半から1980年代までに制作された映画ポスター82点を紹介します。1960年代に〈チェコ・ヌーヴェル・ヴァーグ〉と称されたチェコスロヴァキア映画のほか、ヨーロッパ各国の作品やアメリカ映画、さらには日本映画のポスターにも注目し、映画とグラフィックの出会いから生まれる緊張感と優美さ、そしてユーモアを呈示します。



左 映画：『甘い生活』1960年(監督：フェデリコ・フェリーニ)
ポスター：1962年、カレル・ヴァツァ

右 映画：『羅生門』1950年(監督：黒澤明)
ポスター：1970年、ベドジヒ・ドロウヒー

講演会

「社会主義時代におけるチェコ芸術」

阿部賢一氏(立教大学准教授)

日時：2014年4月6日(日) 午後2時～3時30分

※聴講無料、当日午前11時から受付にて整理券配布

「チェコ・ヌーヴェル・ヴァーグの時代」

ペトル・ホリー氏(チェコセンター前所長/チェコ蔵代表)

日時：2014年4月26日(土) 午後5時～6時30分

※聴講無料、当日午後1時30分から講堂入口にて整理券配布

会場：京都国立近代美術館1階講堂

定員：100名

「チェコの映画ポスター」展 友の会特別解説会

日時：2014年4月27日(日)

午前11時30分～12時

集合場所：当館1階ロビー

集合時間：午前11時25分

募集人数：先着10名

解説者：池田祐子(当館主任研究員)

申し込み先：京都国立近代美術館 事業係

電話：075-761-4115

(月曜から金曜まで午前10時～午後5時)

※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。

平成26年度 第1回 コレクション展

3月21日(金・祝)～5月11日(日)

- ・都築響一《着倒れ方丈記》
- ・1960年代以降の染と織
- ・洋画―戦後美術の出発
- ・2013年度新収蔵作品―エルンストとピカビア



NFC所蔵作品選集 MoMAK Films 2014
チェコ・ヌーヴェル・ヴァーグ特集

4月26日(土)

午後2時～4時42分

『マルケータ・ラザロヴァー』

1965年、監督：フランチシェク・ヴラーチル

4月27日(日)

午後2時～3時29分

『抵抗のプラハ』

1971年、監督：ウラジミール・チェフ

午後3時50分～5時11分

『受難のジョーク』

1968年、監督：ヤロミル・イレシュ

1プログラム：500円(当日券のみ)

会場：当館一階講堂

チケットは会場入口にて販売、開演30分前より販売開始

各回入替制・定員100名

企画協力：川村健一郎・富田美香

(共に立命館大学映像学部准教授)

◆休館のお知らせ◆

日頃より、当館にご来館いただきありがとうございます。当館は3月20日(木)まで、館内改修工事の為、全館休館しております。3月21日(金)の開館の際には、以前からご意見いただいております、トイレや館内サイン等々、皆さんの身近なところで変化を見つけていただけたと思います。会員の皆さまには大変ご迷惑おかけしますが、しばらくの間、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

友の会事務局一同

京都国立近代美術館賛助会員・一般会員

当館は下記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。

